

研究機関名：東北大学

受付番号： 2012-1-151

研究課題名

乳癌の分子診断法開発に関する研究

研究期間 西暦2012年 7月（倫理委員会承認後）～2017年 6月

対象材料

- 病理材料（対象臓器名 乳腺 ）
 生検材料（対象臓器名 ）
 血液材料 遊離細胞 その他（ ）

上記材料の採取期間 西暦2000年 1月～2017年 6月

意義、目的

乳癌は女性のがんの部位別年齢調整死亡率が第3位の疾患であり、40歳台に年齢階級別罹患率のピークがあり、その制御は医学的、社会的に重要な課題となっています。本研究は、乳がんの予後を予測可能な新規の分子診断法を開発することを目的としています。本研究により、予後の予測性が向上し、それぞれの患者様に適切な治療法が選択できる（テーラーメイド医療）様になることが期待されます。

方法

乳がんの手術標本の一部や生検組織を使用し、DNA、RNAを抽出します。DNAは乳がん関連遺伝子の変異解析に使用します。RNAは遺伝子発現パターンの解析に用います。また、薄切標本を用いて組織型、異型度診断、免疫染色などを行います。これらの解析結果と予後の関連性を解析し、予後を予測可能な新規分子診断法を開発を行います。

問い合わせ等の窓口

東北大学病院 腫瘍内科

電話 022-717-7878 FAX 022-717-7674

担当者 高橋 信、石岡千加史